

下関バイオマス 発電事業の概要

平成30年6月

下関バイオマスエネルギー合同会社

発電所の位置図

(所在地) 山口県下関市彦島迫町7丁目

(現状)

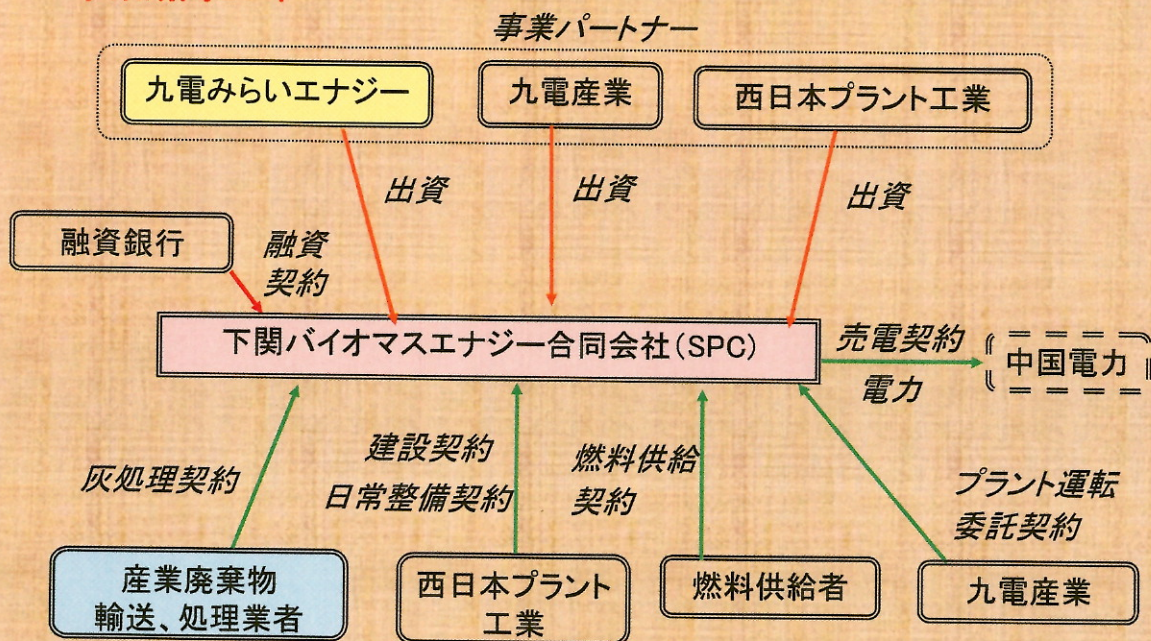


(完成イメージ図)



事業スキーム

- ・プロジェクトファイナンス
- ・事業期間20年



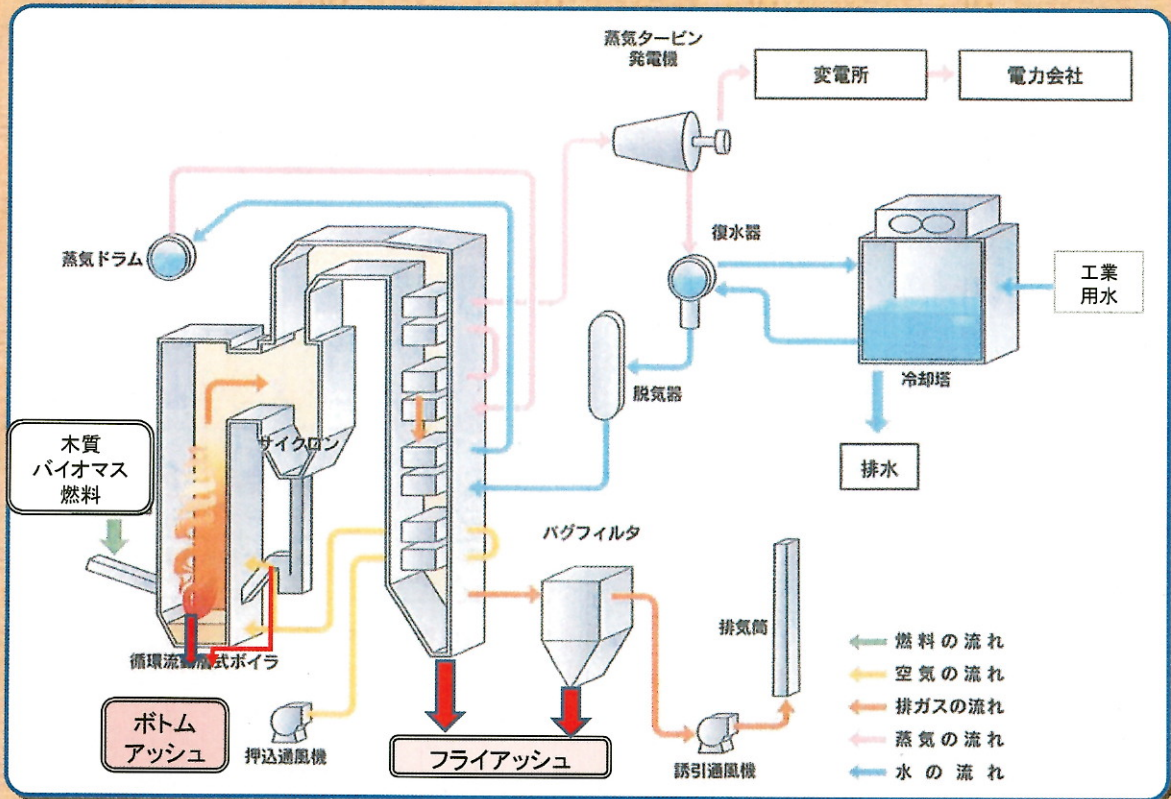
2

下関バイオマス発電所の概要

項目	内容
所在地	山口県下関市彦島迫町7丁目
敷地面積	約45,000㎡
発電出力	74,980kW
ボイラー	循環流動層ボイラー 最大蒸発量: 260t/h 主蒸気温度: 513℃
燃料	年間使用量: 約31万トン 主要燃料: 木質ペレット、PKS その他: 国産木質チップ(未利用材等)
売電	中国電力に売電 FITによる20年間固定価格買取
開発工程	SPC設立 平成29年12月 EPC契約 平成30年 2月 融資契約 平成30年 3月 着工 平成31年 6月 受電 平成33年 5月 火入れ 平成33年 8月 運転開始 平成34年 1月

3

発電のしくみ



木質燃料について

使用燃料の種類

項目	木質ペレット(主燃料)	PKS(補完燃料)	木質チップ・剪定木(若干)
外観			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 品質が安定している 嵩密度が大きく、輸送効率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的発熱量が高い。 近年、注目を集めており、価格上昇が懸念。 	<ul style="list-style-type: none"> 性状(水分)のバラツキが大きい ペレットと比較して価格が安い。
水分	10%w.b程度	25%w.b程度	30~50%w.b程度
発熱量	4,100kcal/kg程度	3,500kcal/kg程度	2,000~3,000kcal/kg
産地	カナダ・東南アジア	東南アジア	国内

環境対策

項目	対策	
ばい煙	SOx (硫黄酸化物)	極力、硫黄分の低い燃料の使用に努める。
	NOx (窒素酸化物)	適切な燃焼管理(燃焼温度、空気燃料比率など)に努める。
	ばいじん	適切な燃焼管理(燃焼温度、空気燃料比率など)に努める。 バグフィルターにより燃焼灰を捕集する。
一般排水	排水処理装置(中和方式)にて処理後、油水分離槽を経て放流する。	
温排水	復水冷却方式は、冷却塔方式を採用する。 冷却塔の性能管理を適切に行う。	
騒音	低騒音型機器を採用する。 防音ラギングやサイレンサーの取り付け、建屋収納、防音壁の設置などを行う。	
振動	低振動型機器を採用する。 防振ゴムや防振パッドの取り付けなどを行う。	
産業廃棄物	適切な設備運用管理により発生を抑制し、処理にあたっては再利用化に努める。	

建設スケジュール

